

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	山口大学医学部附属病院における大腸腫瘍性病変に対する 内視鏡治療実態把握のための調査研究		
② 実施予定期間	実施許可日 から 2026年3月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で大腸腫瘍性病変に対し下部消化管内視鏡による治療 を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2010年4月1日 から 2025年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第一内科		
⑦ 研究責任者	氏名	浜辺功一	所属 第一内科
⑧ 使用する情報等	日常診療において得られた情報のうち、患者さんの背景（年齢、性別、全 身状態、病歴など）、臨床データ（血液検査結果や画像検査所見、病理所 見、治療による偶発症など）を収集します。		
⑨ 研究の概要	<p>大腸癌は本邦で罹患率・死亡率ともに増加傾向が続いている疾患です。 その中で早期に発見されたもの等については、日本消化器内視鏡学会が発 刊しているガイドラインに準じて、現在多くの施設において下部消化管内 視鏡による治療が施行されています。</p> <p>また直腸は消化管の中で神経内分泌腫瘍が発生しやすいとされる部位 であり、罹患数についても増加傾向にあることが報告されています。その 取扱いや治療については日本神経内分泌腫瘍研究会が発刊しているガイ ドラインに準じて、多くの施設で対応されています。</p> <p>いずれも治療に使用する器具や治療の方法は刻々と進歩し、患者さん も年々高齢化が進んでいるのが現状です。</p> <p>そこで、当科において大腸腫瘍性病変に対して下部消化管内視鏡を用いた 治療がなされた患者さんの情報を収集することにより、治療の現状を把握 し、治療成績の変遷等を踏まえて、今後のよりよい治療法の選択や課題の 抽出等に役立てます。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2022年 5月 2日	
⑪ 研究計画書等の閲 覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報 及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		

⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	第一内科の研究費（奨学寄附金）を用います。		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 第一内科 浜辺功一		
	電話	0836-22-2241	FAX 0836-22-2240